

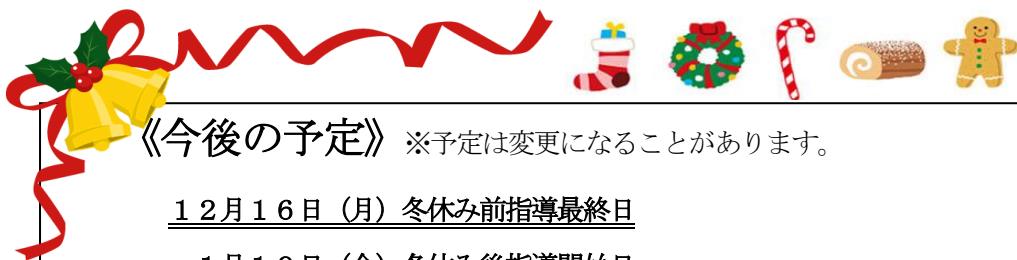
サポートルーム

学級だより

2024年12月2日(月)
サポートルーム12月号

特別支援教室拠点校 町田市立町田第三小学校

舞い散る枯れ葉や冷たい風に、本格的な冬の訪れを感じる頃になりました。早いもので12月16日までが今年の指導となります。サポートルームの子供たちは、自分の得意なことや頑張りたいことを見付けたり、何事にも一生懸命に取り組んだりすることができました。ぜひご家庭でも頑張ったことや成長を振り返ってみてください。今年もサポートルームの指導にご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。また新年に元気な子供たちと学習するのを楽しみにしています。



《今後の予定》 ※予定は変更になることがあります。

12月16日(月) 冬休み前指導最終日

1月10日(金) 冬休み後指導開始日

2月26日(水)～3月7日(金) 各学校にて保護者会予定

3月3日(月)～3月10日(月) 個人面談

(希望の方 ☆3月退級の方は必須となります)

3月17日(月) 今年度指導最終日

☆お知らせ(指導期間の延長に関わる書類、今後の連絡について)☆

来年4月からの指導の延長が決まったお子さんについては、保護者の方に記入していただく書類を封筒に入れてお渡ししました。各校で時期に多少の違いはありますが、12月初旬に提出をお願いしました。まだ、提出していない方は、個別に連絡しますので、提出をお願いいたします。

今後、延長が正式に決定し次第、連絡帳でお知らせします。

町田第三小学校

低学年「いすとりでグーまけてもまあいいか」

自分の気持ちを言葉で表現するためにいす取りゲームをしました。椅子に座れなかったときには、「悔しい！けど、まあ、いいか。」と気持ちを言うことで復活して何度でもゲームに参加できます。「あー！残念…」
「次は、頑張る！」など、たくさん自分の気持ちを表現することができました。

町田第五小学校

低学年「つくってみよう」

紙コップでけん玉を作りました。コップに絵を描く、タコ糸を結ぶ、アルミホイルを小さく丸めるなど細かい作業を頑張りました。難しいときには「手伝ってください。」と言うこともできました。完成したけん玉の絵を見せ合ったり一緒に遊んだりしていました。

南第一小学校

低学年「忍者修行」

子供たちが忍者になりきって、いろいろな運動(修行)をしました。的を狙う「玉の修行」では、一人二つのお手玉をケンステップに投げ入れました。ほかの友達が投げているときには「頑張れ！」と応援し、2回目に入った玉の数が増えたときには「よっしゃ！」と喜び合う姿がすてきでした。

高学年「クリスマスツリーを作ろう」

役割分担をしてからクリスマスツリーを製作しました。「僕は切るのは得意だけど、のりで手が汚れるのが苦手なんだよ。」と言うと「あっ、俺は大丈夫だから貼るのは任せて！」など自分の得意なことを活かしたり、苦手なことは協力したりすることで、すてきなツリーが完成しました。

高学年「見立てゲーム」

いろいろな物を別の物に見立てる活動をしました。空気入れを水鉄砲に見立てたり、フリスビーを使って野球のグローブにして動作をしたりするなどユニークな発想がありました。友達の見立てを見て「確かに見える！思いつかなかったな。すごいよ。」と発想の違いを楽しんでいました。

高学年「こんなときどうする？」

それぞれに合わせた場面で困ったときの助けの求め方を考えました。「これは俺よくあるな。助けを求めるとしたら俺なら先生に聞くかな。」と、助けを求めるセリフを考えました。ロールプレイのときには、アドリブが必要な場面でも、実際の場面さながらその場で考える姿が頼もしかったです。

